参考資料

専門部会（第３回）の意見概要について

（１）　人が輝くいばらきづくり専門部会（第３回）

日　時　：　平成２７年７月２３日(木)　午前１０時～１２時
場　所　：　茨城県薬剤師会館　３階大会議室
出席者　：　委 員　１７名ほか

【主な委員意見の概要】

（全体構成等について）

・特になし。

（政策展開の基本方向について）

・政策１の名称について，現在の少子化や地域活性化の状況を踏まえると，世界に羽ばたくだけでなく「地域を拓く」ことについて盛り込んだ方が良い。
・道徳教育については，小中高が連携した推進体制が必要。
・学力の中に，地域の伝統や文化を良く知り，それを説明できる力が入っても良い。
・問題を発見する能力も，学力として求められている。
・団塊世代が退職する時期になっており，教員の確保や質の向上，ベテラン教員と若手教員をつなぐことは重要な課題。
・幼少期などにおいて様々な視点を持つことが重要であり，豊かな心のなかに，文化芸術の活用について盛り込むべき。
・地域に雇用があることが，茨城に愛着を持って育った若者がその力を地域に還元するための前提になる。
・生涯学習については，教育委員会に留まらない幅広い連携が必要。
・伝統文化について，古いものを保存することに加え，現在の文化を保存していかなければ伝統文化はつながらない。そのために歴史館等の機能強化が必要。
・現状，学校の安全・安心は家庭・地域の連携がなくては成り立たない。その他，様々な分野においても家庭・地域・学校の連携が必要。
・ＬＧＢＴの問題など性的マイノリティについても取り上げるべき。

（数値目標について）

・施策や主な取組がどのような形で実現したかについても評価すべき。

（２）　活力あるいばらきづくり専門部会（第３回）

日　時　：　平成２７年７月３１日(金)　午前１０時～１２時
場　所　：　茨城県薬剤師会館　３階大会議室
出席者　：　委 員　１５名ほか

【主な委員意見の概要】

（全体構成等について）

・基本理念は文章でまとめるべきではないか。
・「みんなで創る○○○○いばらき」には言わなくてはならない言葉を入れるべき。
・重点プロジェクトについて，農業と観光が連携していくことが今後大事になる。

（政策展開の基本方向について）

・政策１について，茨城の科学技術と言えばこれというものを出してはどうか。また，なぜ科学技術が重要な政策なのか分かり易く説明すべきではないか。

・主な取組に，希望する将来像と県がするべきことが混在しており，整理が必要。
・2050 年を展望するため，もっと壮大なテーマがあっても良いのでは。
・政策が縦割りの構成であるため，テーマや括り方を検討してはどうか。
・県の取組を県民に分かり易く情報発信していくことが必要。
・アジア以外に輸出販路を広げるため，まずはマーケティングを行うべき。
・林業について，具体的で手が届くような取組を検討してほしい。
・政策２について，自社で国内外に販路を開拓できる企業の育成，ものづくりとサービス業の融合，ＩＣＴの活用，人材の育成などで項目を立ててみてはどうか。
・革新的なものを生み出すには，研究者や技術者が自主的に集まって研究や交流を行える環境づくりが重要。
・県内の技術や産物を繋ぎ，県の特徴として国内外に打ち出す部門があると良い。
・各分野の若い世代が未来を見据えて議論し，一緒に育っていくことが重要な視点。
・交流社会とは世界にも開かれている状況であるため，政策５は政策４と統合してはどうか。

（数値目標について）

・政策目標はできるだけ分かり易く，少ない方が良い。
・農林水産物は他県で出来て茨城県で出来ていないことを埋めるための目標設定を。

（３）　住みよいいばらきづくり専門部会（第３回）

日　時　：　平成２７年７月３１日(金)　午後１時３０分～３時３０分
場　所　：　茨城県薬剤師会館　３階大会議室
出席者　：　委 員　１７名ほか

【主な委員意見の概要】

（全体構成等について）

・「重点プロジェクトの考え方」に「県民の求める茨城」を入れるべきではないか。
・総合計画の認知度向上のため，計画にプロモーションを盛り込んではどうか。

（政策展開の基本方向について）

・政策１-施策（１）安心して結婚・子育てができる社会づくりに「出産」の追加を。
・「自立支援」は認知症高齢者に限った話ではなく，また，「権利擁護」は障害者のほか子どもの虐待にも関係するので，全体としてわかるところに記載すべき。
・「多世代近住」の効果は高齢者支援の側面だけではないので，記載場所の検討を。
・「福祉人材」を育成するには「医療人材」の育成と同じくらいの具体性が必要。
・「公共交通」にかける意気込みが薄いので，拡充を検討されたい。
・「公共交通」は事業者と行政だけでなく，住民が一緒に考える意識付けが必要。
・「防災計画」には上下水道のライフラインの早期復旧を入れてほしい。
・犯罪に強い社会づくりの「普及･啓発」に，インターネット教育の追加を。
・消費生活相談員の資質向上には，ステップアップするための雇用の安定が不可欠。
・政策３-施策（３）犯罪に強い社会づくりと消費施策の推進について，現在，包含している「食の安全」は馴染まないので，別の施策とした方が良い。
・「地球温暖化対策」には，輸送面で効果のある「地産地消」に言及しても良いのでは。

（数値目標について）

・県民意識の追加に賛成だが，質問の仕方で回答が引っ張られるので留意してほしい。
・コストに対する定量的な評価を図ってほしい。
・「健康寿命」という言葉が独り歩きしている。県で調査するのは難しいのではないか。